

トカラ列島口之島2004年3月の昆虫

中峯 浩司*

Insects recorded in March, 2004 in Kuchino-shima Island, Tokara Islands, Kagoshima Prefecture
Koji NAKAMINE

はじめに

トカラ列島は旧北区と東洋区を分ける渡瀬ラインをまたぐことや島ごとに特化した昆虫がみられることから、県内外の研究機関による調査の他、愛好家も多く訪れる地域である。それらの報告は全国に散在していると思われるが、幸いこれまでのトカラ列島または各島における昆虫類の分布については、トカラ列島以南を対象地域としている琉球列島産昆虫目録（東清二 監修，2002）にまとめられており、列島の昆虫相を概観できる。また、当博物館による口之島の昆虫類の調査報告としては廣森（1999）があり、1998年10月10～11日の2日間の調査結果を報告している。

今回、2004年3月4日～8日の5日間、当館の「触れ見る知る自然資料収集整備事業」の一環として、口之島において早春の昆虫類の調査・収集を行ったので、その結果を報告する。

1 調査日程

3月3日（水）

23:50 鹿児島港発（フェリーとしま）

3月4日（木）[曇り，強風，気温低い]

6:00 口之島西之浜港着

午前：口之島集落内 午後：島南部（車で移動）

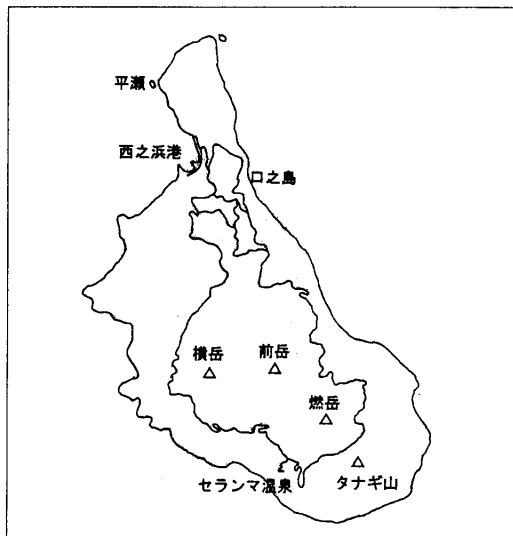
夜間：島南部において灯火採集に出かけたが強風と低温のため中止。翌日以降も状況は変わらず。

3月5日（金）[晴れ，気温高いが午後風強まる]

チョウやアブ類が多く飛んだのはこの日だけ。

午前：横岳（車で移動），集落周辺

午後：燃岳東部（車で移動）のゴミ捨て場下の樹林に入る。植生は貧弱。



口之島略図

* 〒892-0853：鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

3月6日(土) [晴れ, 気温低い, 風強し]

終日: 集落内およびその周辺

3月7日(日) [曇り時々晴れ, 一時あられ, 気温低く風強し]

終日: 島南部(車で移動)

3月8日(月) [曇り時々晴れ, 風弱まる]

午前: 集落周辺

13:30 西之浜港発(フェリーとしま)

19:30 鹿児島港着

2 調査の目的・方法

トカラ列島からの昆虫類の調査報告は、島外者によるものがほとんどで、種類・数ともに多い夏～秋季に限られていると思われたので、今回は早春の昆虫の収集を調査の主な目的とした。

調査の方法としては見つけ捕りや叩き網の他、ナタを用いて朽ち木中の昆虫を採集した。夜間は灯火採集を行う予定であったが、連日の低温と強風のため1度も実施できなかった。また、カミキリ幼虫の食痕のある枯れ木を持ち帰り、後日羽化脱出した成虫を採集した。

3 調査結果

以下の目録の採集・目撃者はすべて筆者であり、年月は省いて採集・目撃日だけを示した。標本はすべて鹿児島県立博物館で保管している。

同定は筆者が行ったが、一部のバッタ類は元当館学芸指導員の山下秋厚氏にお願いした。

また、分布についての記述は、基本的に琉球列島産昆虫目録を参考にした。

なお、種名の前の記号の意味は次のとおりである。

・琉球列島産昆虫目録に口之島の分布が記されているもの

○上記目録にトカラ列島には分布があるが口之島の分布が記されていないもの(トカラ列島とのみ記述しているものを含む)

◎上記目録にトカラ列島の分布が記されていないもの

●上記目録に記述がないもの

*未同定のもの

ゴキブリ目 BLATTARIA

マダラゴキブリ科 Epilampridae

○サツマゴキブリ *Opisthoptalia orientalis* 成虫1頭, 幼虫2頭: 4日

バッタ目 ORTHOPTERA

コオロギ科 Gryllidae

○台湾エンマコオロギ *Teleogryllus occipitalis* 幼虫3頭: 5日

ヒバリモドキ科 Trigonidiidae

◎クロヒバリモドキ *Trigonidium cicindeloides* 2♂1♀ : 5日

○オキナワヒバリモドキ *Trigonidium pallipes* 1♂1♀ : 5日

ヒシバッター科 **Tetrigidae**

○ヒメヒシバッター *Tetrix minor* 2♀ : 5日

イナゴ科 **Catantopidae**

○ツチイナゴ *Patanga japonica* 1♂1♀ : 5日

・タイワンハネナガイナゴ *Oxya chinensis* 2♂1♀, 幼虫1♀ : 5日

バッター科 **Acrididae**

・マダラバッター *Aiolopus thalassinus* 1♂1♀ : 5日

・トノサマバッター *Locusta migratoria manilensis* 1♂ : 5日

ヨコバイ目 **HOMOPTERA**

マルウンカ科 **Issidae**

○サツマクサビウンカ *Sarima satsumana* 2頭 : 5日

カメムシ目 **HEMIPTERA**

アメンボ科 **Gerridae**

・ヒメアメンボ *Gerris (Gerris) latiabdominis* 1♂1♀ : 4日

ナガカメムシ科 **Lygaeidae**

◎コマダラナガカメムシ *Spilostethus hospes* 1頭 : 5日

マルカメムシ科 **Plataspidae**

●マルカメムシ *Megacopta punctatissima* 1頭 : 5日 琉球列島産昆虫目録に本種の記述はない。日本原色カメムシ図鑑には本州から屋久島の分布が示されている。

カメムシ科 **Pentatomidae**

◎ツヤアオカメムシ *Glaucias subpunctatus* 1頭 : 6日

○キュウシュウシモフリクチブトカメムシ *Eocanthecona kyushuensis* 1頭 : 5日

コウチュウ目 **COLEOPTERA**

セスジムシ科 **Rhysodidae**

○リモガンセスジムシ *Rhyzodiastes rimoganensis* 3頭 : 7日

ハンミョウ科 **Cicindelidae**

○コハンミョウ *Cicindela specularis* 多数の巣穴と幼虫数頭を確認 : 5日

本種の幼虫と思われる巣穴群を平瀬付近の海岸近くで見つけた。巣穴は背丈の低い草地の間の粘土を含んだ砂地に掘られており、掘り起こしてみると深さは7 cm前後で中齢がほとんどだが若齢幼虫も若干見られた。

オサムシ科 **Carabidae**

*マルガタゴミムシの一種 *Amara* sp. 1頭 : 5日

クワガタムシ科 **Lucanidae**

・ネブトクワガタ *Aegus laevicollis subnitidus* 14♂10♀ : 6日 リュウキュウマツの倒木

下より、多数の幼虫とともに得られた。

- ・ルイスツノヒョウタンクワガタ *Nigidius lewisi* 4頭：4日，9頭：5日，4頭：7日
セラマ温泉下の樹林内および燃岳東部の樹林内の朽ち木から幼虫とともに得られた。

コガネムシ科 Scarabaeidae

- * マグソコガネの一種 *Aphodius* sp. 1頭：5日

ジョウカイモドキ科 Melyridae

- ・ムナキヒメジョウカイモドキ *Attalus niponensis* 1頭：5日

テントウムシ科 Coccinellidae

- タカラアカホシテントウ *Chilocorus takara* 1頭：5日
- ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata* 1頭：5日，3頭：7日
- ヒメフタモンクロテントウ *Cryptogonus horishanus* 2頭：5日
- ◎ フタモンクロテントウ *Cryptogonus orbiculus* 2頭：6日
- オオフタホシテントウ *Lemnia biplagiata* 3頭：6日
- ダンダラテントウ *Menochilus sexmaculatus* 1頭：7日

カミキリムシ科 Cerambycidae

- ・ワモンサビカミキリ *Pterolophia annulata* 1頭：5日
- ・トカラニセビロウドカミキリ *Acalolepta sublusca hamai* 1頭：6日材採取，同年5月21日に材より羽化脱出

- カノミドリトラカミキリ *Chlorophorus kanoi* 1頭：6日材採取，同年6月中旬に材より羽化脱出

- ・ムツボシシロカミキリ *Olenecamptus taiwanus* 1頭：6日材採取，同年5月21日に材より羽化脱出

ハムシ科 Chrysomelidae

- タイワンツブノミハムシ *Aphthona formosana* 3頭：4日
- アカクビナガハムシ *Lilioceris subpolita* 3頭：6日

ゾウムシ科 Curculionidae

- ホソヒョウタンゾウムシ *Sympiezomias cribricollis* 1頭：5日

ハチ目 HYMENOPTERA

アリ科 Formicidae

- アメイロオオアリ *Camponotus devestivus* 6頭：7日 朽ち木から得られた。

ヒメバチ科 Ichneumonidae

- * ヒメバチ科の一種 5頭：7日 草地を低く飛翔していた。

ハエ目 DIPTERA

ハナアブ科 Syrphidae

- ◎ ハナアブ *Eristalis tenax* 1頭：4日，3頭：5日
- ◎ オオハナアブ *Phytomia zonata* 1頭：5日

シロチョウ科 Pieridae

- ・モンシロチョウ *Artogeia rapae crucivora* 数頭目撃：5日

シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* 数頭目撃：5日，1♂：8日
- ・ヤマトシジミ *Pseudoizeeria maha* 数頭目撃：5日

マダラチョウ科 Danaidae

- ・アサギマダラ *Parantica sita nipponica* 卵および幼虫を確認：7日

燃岳東部の道路沿いでツルモウリンカ（ガガイモ科）よりアサギマダラの幼虫を発見し，付近の幼虫の齢数を調べたところ卵4個，1齢1頭，3齢2頭，4齢1頭，5齢6頭を確認できた。他に燃岳の南西部の道路沿いにもツルモウリンカが多く，数頭の幼虫を確認した。また，セランマ温泉から樹林内を海岸方向に下った，崖近くの明るい林床でもツルモウリンカを確認したが，ここでは古い食痕は見られたものの，幼虫は確認できなかった。成虫は島南部では目撃できなかったが，来島していた北海道大学の学生が3月5日，口之島集落近くの畑を走る道路で，地面に止まっていた1頭を目撃している。この個体が越冬個体なのか，春になって羽化したのか，あるいは南方からの移動個体なのか興味深い。3月上旬に卵や若齢が見られたことから，口之島では成虫越冬している可能性もあると思われる。

【その他，探したが見つからなかったチョウ類】

カバマダラ *Anosia chrysippus* 集落内で食草のトウワタ（ガガイモ科）を探したが見つけたのは2カ所だけで，1カ所は葉のつきが悪かった。卵も幼虫も見つからなかった。

4 考察

今回の調査でゴキブリ目1科1種，バッタ目5科8種，ヨコバイ目1科1種，カメムシ目4科5種，コウチュウ目10科20種，ハチ目2科2種，ハエ目1科2種，チョウ目3科4種，合計8目27科43種を記録することができた。このうち，琉球列島産昆虫目録に口之島の分布が出ていないものは26種であった。

早春の昆虫類の調査は，その成果が天候に左右されやすい面があるものの，越冬すなわち土着していることがより確実になるため貴重な記録となる。今後機会があれば，トカラ列島の他の島でも調べてみたい。

引用・参考文献

- 廣森敏昭，1999，1998年10月口之島の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告，18，5-10。
 東清二 監修，2002，琉球列島産昆虫目録 増補改訂版．沖縄生物学会
 平嶋義宏 監修，1989，日本産昆虫総目録．九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター
 友国雅章 監修，1993，日本原色カメムシ図鑑．全国農村教育協会
 林 匡夫ほか，1984，原色日本甲虫図鑑Ⅱ～Ⅳ．保育社
 安松京三ほか，1965，原色昆虫大圖鑑（Ⅲ）．北隆館



コハンミョウの生息地（平瀬付近）



コハンミョウの幼虫



燃岳東部の林道
(ツルモウリンカにアサギマダラ幼虫多い)



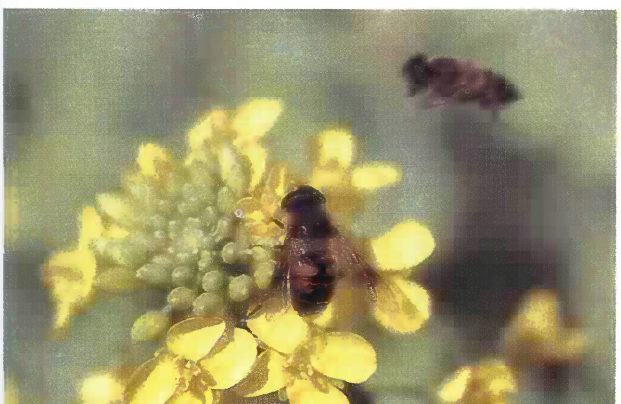
林床に生えるツルモウリンカ
(セランマ温泉下)



アサギマダラの初齢幼虫



ネトクワガタ



ハナアブ



ツチイナゴ